Academic Program Focus5: 東アジアにおける対話
「グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク日中韓ラウンドテーブル2011」開催

11月24・25日の両日、東ヶ崎潔記念ダイアログハウス国際会議室とディッフェンドルファー記念館東棟オーディトリアムにおいて、国連のグローバル・コンパクト(GC)に係る日中韓3カ国の研究者と、GC加盟企業・団体が、3カ国及び東アジアにおけるCSRの報告性を議論する「GC・ジャパン・ネットワーク日中韓ラウンドテーブル2011」が開催された。ICUは会場を提供し、この開催に協力した。

GCとは、責任ある創造的リーダーシップを発揮し、国際社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに自発的に取り組むことの表明。加盟企業・団体は、社会的責任の柱となる10原則に賛同し、実現に向け努力を重ねている。ICUは2009年、これに参加した。

「日中韓ラウンドテーブル会議」は今年が第3回で、日本においては初開催。24日午後の「オープンセッション」では、鈴木典比古学長が「新しい時代の人材育成」、国連事務総長特別顧問で外務省参与の高須幸雄氏が「人間の安全保障と日本」と題して講演。続くパネルディスカッションでは、毛利勝彦教授がモデレーターとして登壇した。

Global Compact Roundtable Conference

On November 24 and 25, ICU provided the venue for the 2011 Global Compact China-Japan-Korea Roundtable Conference. UNGC scholars, member companies and organizations gathered in the international conference room in Dialogue House and the Diffendorfer Memorial Hall. This 3rd annual round table conference was held for the first time in Japan. President Norihiko Suzuki opened the session with his message “Nurturing Leaders for a New Era,” followed by Special Assistant to the Minister of Foreign Affairs and Special Advisor to the UN Secretary-General Mr. Yukio Takasu’s lecture “Human Security and Japan.” Professor Katsuhiko Mori moderated the panel discussion.